

「自分の命を、自分で守る」ために。

正確・迅速・公平な防災情報が、災害時の行動と安心につながります。



徳島大学大学院
金井純子氏(地域防災学)

「徳島県公式LINE」で 防災情報をキャッチ

近年、日本各地で大きな災害が発生しています。このような中、徳島県でもさまざまな災害情報を発信する「県公式LINE」の取組が進められています。私たちが県民も普段から身近な方法で情報を受け取れるように準備しておくことが重要です。

信頼性の高い行政機関からの情報を受け取れるよう平時から準備しておくことが大切です。

能登半島地震でも 自治体のSNSが活躍

今年1月に発生した能登半島地震でも、輪島市などの被災自治体が公式LINEを使い、被災者支援につながるさまざまな情報を発信されています。また、石川県では、避難所以外に避難する人向けに行政支援のためのLINE登録窓口を設置するなど、スマホを活用した取組が続けられています。

徳島県でも、県民目線に立った防災情報を皆様にお届けするため、有識者による検討会を設置し、県民が必要とする防災情報の内容や発信のタイミング、SNSの活用などについて協議を重ねてきました。現在すでに約4万人が登録する「県公式LINE」や「安心とくしまホームページ」での発信内容も、さらに強化されていくはず。自分の命を、自分で守る。そのためには県や市町村のスマホアプリ等を登録し、いざという時に備えてください。

6月は「土砂災害防止月間」です。

これから梅雨や台風などにより、土砂災害が発生しやすい時期を迎えます。日頃から備え、早めの避難を心がけましょう。

日頃の備え!

- ①日頃から住んでいる地域の危険度を把握する
- ②避難の方法を決めておく
- ③非常持ち出し袋を用意しておく



早めの避難!

- ①雨が降り出したら気象情報に注意!
- ②豪雨になる前に早めの避難行動を



気象情報や土砂災害警戒情報についても県公式LINEで配信しています!

[問] 県砂防防災課 ☎088-621-2629 ☒088-621-2866

能登半島地震の教訓を踏まえた 防災対策を進めていきます。

ワーキンググループでの検証結果(一部)

徳島県では、能登半島地震の教訓を本県の防災対策へ活かすため、市町村・民間事業者・教育機関・NPOの方々にも加わっていただき、6つのワーキンググループを設置。先月5月13日には、県内市町村長が県庁に集まり、ワーキンググループの状況報告など、防災対策について話し合う会議も開催いたしました。

避難所

- 被災地の状況
 - 住民による自主運営の仕方によるばらつき
 - 避難生活の長期化
- 対策
 - 住民主体・男女共同参画の視点を取り入れた実践的な避難所運営訓練を実施します。
 - 緊急防災・減災事業債等を積極的に活用し、避難所のQOLの向上に向けた機能強化を図ります。



物流

- 被災地の状況
 - 集積拠点での整理、仕分けの不慣れ
 - 民間事業者がオペレーションに加わり改善
- 対策
 - 民間事業者との協定締結を拡大します。
 - 民間事業者のノウハウを取り入れて物資拠点の再点検を実施します。



断水

- 被災地の状況
 - 長期間の断水状況
 - 飲用水だけでなく生活用水の確保が困難
- 対策
 - 水道の耐震化に向けた支援制度の充実を国に要望します。
 - 断水時に備えた官民(住民参加型)一体となった訓練を実施します。
 - 防災井戸の普及を推進します。



道路啓開*

- 被災地の状況
 - 緊急輸送道路の被災により、救助・救出活動、物資の輸送などに支障
- 対策
 - 関係団体との協定締結を拡大します。
 - 災害時情報共有システムを活用します。
 - 啓開計画・手順書を見直し、訓練を実施します。



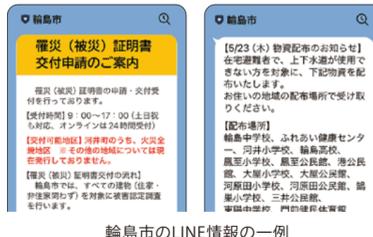
通信途絶

- 被災地の状況
 - 通信途絶により、被災情報の伝達が困難
 - 要救助者の救助に支障が発生
- 対策
 - スターリンク(衛星インターネットサービス)等の活用により、防災拠点の通信を多重化します。
 - 民間事業者と連携した復旧訓練を実施します。



停電

- 被災地の状況
 - 停電により、避難所等における各種リスクが顕在化
- 対策
 - 電力の復旧のための資機材を確保し充実します。
 - 停電を想定した住民参加型の訓練を実施します。



輪島市のLINE情報の一例

輪島市のLINE情報に寄せられた声

- 【輪島市民の声】
 - 物資や給水のような日々変化する情報がタイムリーに入ってよかった。
 - 罹災証明書の交付申請など、窓口に行く必要がなく、夜間でも申請ができてよかった。
- 【輪島市職員の声】
 - 普及率の高いLINEアプリを活用することで、すぐに使っていただくことができました。
 - 高齢者の利用も多く、情報発信後すぐにお問い合わせをいただくケースも多い。

令和6年能登半島地震 徳島県の被災地支援

徳島県では、被災した石川県を支援するため、職員を派遣しています。被災地で支援活動に従事した皆さんの活動をご紹介します。



危機管理部防災対策推進課
いづみ 武市 瑞紀 さん
石川県生活環境部資源循環推進課へ
令和6年5月1日～8月31日まで

石川県庁に派遣され、能登半島地震により発生した災害廃棄物の処理に関する業務を担当しています。とりわけ全半壊した被災家屋等の解体・撤去については、所有者からの申請に基づき、行政が費用負担して行っているのですが、二次災害の防止や被災者の生活再建を図るためにも迅速な対応を求められているところです。震災からの復旧・復興のために欠かすことができない重要な業務ですので、最後まで責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。



南部総合県民局農林水産部
いづみ 井内 和人 さん
輪島市産業部農林水産課へ
令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

輪島市役所にて農地・農業用施設の復旧に従事しています。応急的な工事をし、田植えを行った場所もありますが、地域を離れて避難している農家の方々もあり、被害状況の調査も進んでおらず本格的な復旧工事はこれからです。輪島市の農業の職員数が2名と人的資源も不足している状況です。少しでもお役に立てるよう、また、歴史ある地域の復興に貢献できるよう、しっかりと復旧事業に取り組みます。



県土整備部道路整備課
いづみ 柴田 淳司 さん
輪島市建設部土木課へ
令和6年4月1日～7月31日まで

石川県輪島市に派遣され、能登半島地震により被災した河川施設の被災調査及び災害査定など災害復旧業務を担当しています。被災した施設の復旧工費を国に申請し、災害査定で工費を決定し、施設の復旧を行うものです。現在は、被災調査の完了に向け、被災調査を中心にしています。

●紙面に関するお問い合わせ/県危機管理政策課
☎088-621-2280 ☒088-621-2987

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。



想いがつめこまれた 「遊山箱」

あわっ子文化大使リポーター
徳島市城西中学校2年 坂東 亜美 さん

みなさん、遊山箱をご存じでしょうか。色鮮やかなかわいらしい絵が描かれた三段重ねのお重箱です。我が家にも妹と私のものが1つずつあり、節句に毎年飾られています。そんな遊山箱が江戸時代から続く徳島の伝統工芸品である小学校の授業で知ったとき、衝撃を受けたことを今でも覚えています。私の遊山箱は初節句に曾祖母が与えてくれたものでした。小さい頃遊山箱を持って出かけたことがうれしく、私たちにその楽しさを味わってほしいと同時にこのすばらしい徳島の伝統をいつまでも忘れないでほしいという想いがあったそうです。



近頃は遊山箱を持って出かけることはなくなりましたが、それでも母は昔から遊山箱いっぱい私の大好きなものを詰めてくれ桃の節句のお祝いをしてくれます。時代が変わり生活が豊かになっていく中でも、昔から守られ愛されてきた伝統はしっかり私たちの手で受け継いでいきたいと思います。遊山箱にいっぱいの思い出を詰め込んで、これからも大切にしていきたいです。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
県義務教育課 ☎088-621-3054 ☒088-621-2882

命を守る「TKB48」

皆さんは、「災害時のTKB」を知っていますか? 「TKB」とは、トイレ・キッチン(食事)・ベッドの略で、地震大国のイタリアでは「TKB48」として、災害発生から48時間以内に避難所に設置することとしています。本県でも、助かった命を繋ぐため、「TKB48」を念頭に避難所QOL向上に取り組んで参ります。県民の皆様も、携帯トイレや水・食糧の備蓄など、「TKB」を意識した自助・共助の取組をお願いします。



お知らせ

元気なシニアの皆さん! 「介護助手」として活躍しませんか?

シニアの方を対象に「介護助手」として地域社会に貢献していただく事業を実施します。



- 介護助手とは
無資格・未経験・短時間で参加でき、清掃・話し相手などの介護周辺業務を担うお仕事です。
※過去7年間で338名の介護助手が活躍しています。
- 募集期間：7月～11月末まで

[問] 徳島県社会福祉協議会 徳島県福祉人材センター
☎088-625-2040 ☒088-656-1173
徳島県社会福祉協議会 検索

「こどもの居場所」が 増えています!



徳島子ども食堂ナビ

- 県では、子どもにとって安全・安心で、地域の大人と継続的に交流ができる居場所として、子ども食堂をはじめとした「こどもの居場所」づくりを推進しています。
- ぜひ、お住まいの地域の「こどもの居場所」に足を運んでみてください。

[問] 県青少年・子ども家庭課
☎088-621-2176 ☒088-621-2843

えだまめの冷製スープ



吉野川下流域は西日本有数のえだまめ産地で、5～9月が収穫期です。冷たくさっぱりとした口当たり、ほどよい塩加減が食欲をかきたてます。

- 作り方 ①えだまめは、たっぶりの塩水(分量外)で8分ほどゆで、ざるを取る。仕上げ用に何粒か別に分けておく。
- ②中火で熱した鍋にサラダ油をひき、みじん切りにした玉ねぎをしんなりするまで炒め、①を加えてさっと炒める。牛乳を加え、煮立つ直前になったら火を止め、塩、黒こしょうで味を整える。
- ③粗熱が取れたらミキサーでなめらかになるまで攪拌、冷蔵庫で冷やす。
- ④器に盛り、仕上げ用のえだまめをのせて、完成!
- 材料[4人分] ●えだまめ(さやつき)200g ●玉ねぎ1/2個 ●牛乳400mL ●サラダ油 大さじ1 ●塩、黒こしょう 適量
- レシピ提供/県とくしまブランド推進課

